

服部夫婦 任期满了

平成31年3月末



Q・協力隊になって一番大変だったことは何ですか？

1年目はとても大変で、まず「地域おこし協力隊」の存在を地域の人に知ってもらったところからのスタートでした。何かを始めようとしても、怪しい人なんじゃないか？とまぶ疑われ、「どこから来たかもわからない、わけのわからない奴なんかとイベントなんかしたくない！」という雰囲気漂っていました。とても重苦しい会議と準備を何度も重ね、ようやくイベントを開催することができました。当時は今のようには協力隊の人数が多くなかったのですべて一人でこなさなくてはならず、必死でした。その行動が信用につながり、イベントを開催できたことは3年間で一番うれしかったことでもあります。辛かった分、喜びはひとしおでした！

1回目成功したので、2回目からはすんなりできるようになりましたよ(笑)

Q・移住してびっくりしたことは？

家に帰ったら居間にへびがいたり、キッチンがヤマトシロアリに二度も占領されたり、隙間風で家が揺れたり雪が積もったり、家中で砂ほこりが舞ったり：田舎(空き家)に暮らすということはなかなかのアドベンチャーなんだな、ということですかね(笑)

Q・唯一、夫婦で協力隊でしたか？

そうですね、夫婦で協力隊になったことで活動に関しての考え方が合わず、よくぶつかり合っています。移住前は住んでいる町のことを議論することもなかったもので、ケンカもしませんでした。互いに、それだけ朝日町のことを思っているのかもしれません(笑)



Q・卒業後の生活は？

主人が朝日町で養蜂を始めました。みなさん、主人が作った朝日町産のはちみつを買ってください！ 夢は『はちみつ御殿』を立てることです！

Q・最後に町民の方々へ

私たちはこの町が好きで移住してきました。町民の皆さま、もっともっと町を愛し、ついでに服部家も愛してくださいると嬉しいですよ(笑)

父：大介
母：彩子
長男：うし太郎(猫)

これからもよろしくにゃん



「暮らし」のある暮らしを体験

2018年農業インターンシップで初めて朝日町を訪れた佐藤稜太さん(21)。笹川地区と協力隊に興味を持ち、2月13日〜14日に朝日町の移住体験ツアーに参加。彼は再び朝日に来て何を感じたのでしょうか。



移住体験ツアー



早速、興味のある笹川地区へ。そこに広がる美しい景色に心が躍り、思わず雪原へダイブ！雪の柔らかさに感動！「こんな神奈川県では味わえないです！」場所を移しほたる交流館へ。そこでは協力隊より依頼を受けた竹内組さんが何やら作業中。わずかな時間で大きな雪の滑り台を作り上げた職人技に、これまた感動！「背中で語る職人気質がカッコイイ！」



滑り台 制作中

スノーシュー&雪遊びイベント開催



インコの戯言

朝日町に移住してきて一番驚いたことが一つある。それは子供が外で遊んでいる姿をあまり見かけないこと。絶対数が少ないのは承知の上だが、現に小学校の出前授業を行った際のアンケートで、「外遊び」の回答の少なさに驚いた。「こんなに自然豊かなのに...」安全に気軽に自然遊びができる場所がほしいpi〜...

2月16日(土)、地域おこし協力隊主催のもと雪遊びイベントが開催された。当日はあいにくの天気でしたが、子供たちの元気なパワーで開催を決定。スノーシューを履いて雨と雪でずぶ濡れになりながら約1時間で三峯グリーンランドのスキー場を目指す。悪天候で気力・体力の消耗が心配されたが、さすが子供！斜面を見るなり、ソリで何度何度も滑り転がる。大人の参加者も負けじとはしゃぐ姿はとても印象的でした。【記者横山】